

同友ぐんま

第400号

2015年

6

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

第43回定時総会 記念講演

「世界遺産登録への軌跡」 富岡製糸場を守り抜いた

片倉工業の信念

講師/片倉工業(株) 取締役会長 竹内 彰雄氏

四月二十三日(木)、ニューサンピアを会場に、群馬同友会の第四十三回定時総会を開催。活動方針や役員、予算などを力強い拍手で承認し、新年度のスタートを切りました。以下、第

二部記念講演、片倉工業(株)・竹内氏の講演要旨を掲載します。

* * * *

■日本の製糸業の始まり

蚕は三千年以上前には中国で既に飼育されて



おり、日本に渡来したのは二千年以上前の弥生時代に遡ります。当時の蚕は天蚕(野蚕)と呼ばれ、我々の良く知る白色ではなく、緑がかった色をしていました。現在の蚕は完全に家畜化されていて、人間が餌を与えないと絶滅します。非常に扱いやすい昆虫に仕上げられま

した。中国産の蚕や生糸は、インドを経てペルシャやヨーロッパに伝わりました。これがシルクロードです。

日本は生糸を室町時代まで大量に輸入していました。江戸時代に輸出奨励策が執られ、特に八代將軍吉宗は「輸出で外貨を稼ごう」と力を入れたようです。しかし、品質では中国産に敵いませんでした。横浜開港(一八五九年)以来、生糸の輸出量が増大し、明治維新直前の一八六二年には、輸出品の八十六%が生糸と蚕種という記録も残っています。

■洋式器械製糸の導入

品質改良が江戸末期からの課題であったため、座繰製糸から器械製糸に転換する動きが出てきました。日本で最初の器械製糸は前橋藩営製糸所です。一八七〇年(明治三年)、後に富岡製糸場の所長を務める前橋

藩士の速水堅曹がスイス人ミューラーと共に立ち上げました。明治政府はいつそうの輸出奨励策を打ち、品質の良い生糸で市場獲得をめざしました。片倉工業の前身である片倉組も一八七八年、岡谷に器械製糸所をつくります。器械製糸への転換の流れのなか、信州諏訪、群馬・埼玉周辺では多くの製糸所がつけられました。

■富岡製糸場の開場

明治政府は官営製糸場をつくる決断をします。比較的親しかったイギリス・フランスからも提案を受けますが、明治政府が立派だったのは自前で取り組みとうとしたことです。もしアウトソーシングしていれば、イギリス資本のイギリス人による製糸場がつけられ、日本人が下働きをするだけで終わっていたかもしれません。結果、日本の製糸業はもっと遅れていたでしょう。

寺院建築や瓦職人など、日本古来の伝統技術を活かした自力操業にこだわりの一八七二年(明治五年)に富岡製糸場は開場しました。他の国では、こうはできなかつたでしょう。渋沢栄一・尾高惇忠・速水堅曹らの貢献

も多大でした。某ゼネコンの社長の話では「当時、あの建物を二年弱でつくるのは凄いいこと」と言っていました。正面の東繭倉庫と裏の西繭倉庫の煉瓦の出来には違いがあるそうです。二年弱の工期のなかで、煉瓦の焼き方や積み方、漆喰セメントなどの技術・練度をあげていきました。とても日本人らしいところです。



■富岡製糸場が果たした役割

洋式器械製糸技術の導入と習得が政府のテーマでした。単に器械を導入するだけでなく、日本になかった工場制度も取り入れます。一日平均七時間四十五分の労働や日曜制、お盆・年末年始などの休日もありました。

全国から伝習工女を募集しました。当初は「フランス人は夜な夜な生き血を飲む」という噂があり、なかなか工女が集まりませんでした。それはウインダットという笑い話です。尾高惇忠の娘・勇が第一号の工女と

して働きはじめると噂は消え、全国から工女が集まりました。工女たちの様子は松代藩からきた和田英の「富岡日記」に詳しく書かれています。特に和田英が松代に戻ってから苦労が興味深いです。富岡で学んだ新しい技術、新しい手法で地元製糸場をつくろうと努力しますが、なかなか若い女性の提案は受け入れられませんでした。そうした葛藤が記されています。

富岡製糸場が果たしたもう一つの役割が、蚕種改良と技術革新です。これは富岡だけでなく、片倉や郡是、鐘紡なども皆が同じ思いで取り組んでいました。

■官営から民営へ

やはりお役所仕事と言うべきか、富岡製糸場は赤字垂れ流し状態になります。速水堅曹は「民間に払い下げすべき」と主張し、二度目の所長就任後に払い下げが実現しました。一回目の入札は誰も手を挙げませんでした。二回目に片倉のみ入札しましたが、金額が合わず不調に終わります。片倉は当初から富岡製糸場に強い思い入れがあったものの、最初の落札は叶いませんでした。一八九三年、三度目の入札により三井合名に払い下げられました。

三井時代は特にアメリカへの輸出が拡大し、最終的にはアメリカが最大輸出先になりました。一九〇二年、今度は原合名に譲渡されました。原時代は蚕種改良に非常に貢献したと言われます。一九三九年、四度目の正直で当時の片倉製糸紡績(株)の手に渡りました。太平洋戦争の二年

前です。片倉が引き継いだ後は蚕種改良と技術革新に貢献しています。

■片倉組の歴史

農家だった片倉市助が、長野県諏訪郡川岸村(現在の岡谷市)で十人取の座繰製糸を始めたのは一八七三年(明治六年)。富岡製糸場開場の翌年であり、非常に遅いスタートでした。岡谷蚕糸博物館に当時の器械など千点近くが寄贈されています。市助の息子、初代の片倉兼太郎



<環境対策の PRO COMPANY>

目指すのは”屋久島の森の空気”です

「進化」皆様からのご要望により”工場などの環境改善機器”の取扱い始めました。

KÄRCHER®

makes a difference

Deo+plus
デオ・プラス

株式会社デオ・プラス

〒370-0005 群馬県高崎市浜尻町 586-3
tel : 027-365-2236 fax : 027-315-3236
e-mail : ozone@deoplus.net

www.deoplus.net

消防設備・電気設備・PDCE避雷針のことなら

関東防災工業株式会社

■本社 〒371-0857 前橋市高井町1-29-7
TEL (027) 251-3535
■安中営業所 〒379-0126 群馬県安中市西上磯部1736
TEL (027) 385-5261
■東毛営業所 〒370-0514 群馬県邑楽郡大泉町朝日5-8-21
TEL (0276) 55-3770

が川岸村に器械式製糸の垣外製糸場をつくりました。その後、一八九五年に片倉組を設立、京橋に東京支店を開設しました。こちらが後に本社となります。千駄ヶ谷に最初の工場がありました。正確な場所の記録はありません。千駄ヶ谷の時期は短く、大宮に工場を移しました。信州へ王子へ横浜、上州へ大宮へ横浜は「日本のシルクロード」と言われていました。

■蚕品種の改良と研究

一八九三年、横浜と神戸に蚕品種を維持・管理する生糸検査所を開設、一九一四年には二代目社長の今井五介（片倉市助の末っ子、今井家の養子になる）が、大日本一代交配蚕種普及団を松本に設立しました。この頃には日本独自で蚕の品種改良を行い、品種を全国的に統一する蚕種統一運動をしています。普及団は農家に無償で蚕種を提供し、「良い繭をつくって片倉に納めてください」という方法で蚕種を普及させていきました。



多くの製糸業者があつたので農家の争奪戦は激しかったようです。

■絹の大衆化とアメリカ市場への転換

高価だった絹が大衆化して需要が拡大しました。輸出のほとんどがアメリカ向けとなり、輸出が増大していきました。横浜港からアメリカに出港していたのが氷川丸です。現在は山下公園に係留されています。氷川丸にはシルク専用の保存部屋があり、とても厳重に温度管理・湿度管理がされていました。大宮工場のある地域の氏神が氷川神社（武蔵国一宮神社）であり、船内には氷川神社の紋章があるそうです。一九一一年、日本は

中国を抜いて生糸生産高が世界一、もちろん輸出額でも世界一になりました。

■片倉が行った革新的な技術開発

今井五介の援助により、御法川直三郎が多条繰糸機を開発しました。一人の工女が複数の糸を繰れる繰糸機で、片倉と御法川の頭文字からKM式と呼ばれます。大宮製糸所に御法川式多条繰糸機を試験的に設置したのが一九二一年でした。この器械は熊谷の片倉シルク記念館にも残っています。

研究センターの今井先生によると「富岡製糸場では座繰糸が最後まで続けられていた」という資料があるそうです。おそらく「座繰糸」と器械製糸の製品を比較し、品質維持に努めたのでは」と言います。富岡製糸場は器械繰糸の技術普及の筆頭でしたが、座繰糸が基本にあつたことが伺えるエピソードです。

次に自動繰糸機が開発されました。自動繰糸機を松本製糸所へ導入したのは一九三三年、富岡製糸場を合併する六年前です。一つの繭から千m前後の糸を取りますが、切れた繭糸を次

の繭糸につなぐ作業を自動的に行うのが自動繰糸機の特徴です。

■(株)富岡製糸所を合併

一九三九年、片倉が(株)富岡製糸所を合併します。前年、片倉へ譲渡するために原合名が切り離したので(株)富岡製糸所となっていました。片倉組は一九二〇年から片倉製糸紡績(株)となり、日本の生糸輸出の約一割を占めていました。また、同様に約一割の輸出を担っていたのが富岡製糸所です。一九三〇年以降、日本の輸出の約四割が生糸、そのうち富岡と片倉の合計が約二割、全輸出量の約八%が私たちの生糸になりました。近代史における単品の輸出量で約四割を稼いだ商品は他にありません。当時、片倉の製糸所、普及団、蚕種製造所は、朝鮮半島・中国・台湾などを含めて約

六十四カ所ありました。

太平洋戦争が開戦しました。残念ながら戦時中は製糸紡績というわけにはいきません。重工業を手伝うために片倉工業(株)に改称します。さらに統制経済のもとで日本蚕糸製造(株)に統合され、本社は片倉工業の東京本社（京橋）に置かれました。海老名の工場では、生糸で落下傘（パラシュート）や魚網などをつくりました。この頃、片倉工業に入社したのが、後にアuzzi(株)を



つくる堀禄助です。堀は二〇代後半のため、なかなか入社試験に通りませんでした。今井五介に頼み込んで採用になりました。その後、魚網の仕事で堀禄助に暖簾わけします。片倉の歴史で唯一の暖簾わけでした。

■戦後復興のための製糸業

戦後復興に向けて外貨を獲得するため、再び製糸業が注目されました。片倉工業は技術・器械・品種改良を含めて様々な努力をしました。また、片倉学園を各地に開設しました。富岡には片倉富岡学園をつくり、ブリュナ館が校舎として使われました。残念ながらブリュナ館は公開されていませんが、館内は昔の学校を思い起こさせるつくりです。大宮にある県立大宮高等学校も片倉学園の工農学校で



した。

さらなる品種改良と技術開発を進めました。片倉工業が機械関連事業を続けるポリシーは、自動繰糸機の開発にあります。デニラー（定織度感知器）を繰糸機に組み込み、K1型全自動繰糸機を開発しました。K1型はフランスやイタリアにも輸出されています。片倉工業ではK1型からK8型までを開発しましたが、残念ながらそれ以降は続きませんでした。その後、たま電気自動車（プリンス自動車の前身）製たま10型自動繰糸機を導入しました。プリンス自動車は吸収されて日産自動車になります。昔は日産にも繊維機械事業部がありました。残念ながらK8型は手元に残っていません。現在、富岡製糸場に残っているのは、日産HR2型という日産製の器械です。

富岡工場は繰糸器械の改良もあり、一九七四年（昭和四十九年）まで増産が続きました。その後ピークアウトしていき、一九八七年に閉場するまでの十三年間が衰退期になります。ピーク時には官営期の生産量の約八十四倍であったと言わ

れます。ナイロン・レーヨンなどの台頭により、残念ながら製糸業は衰えていきます。

■富岡工場の閉鎖

一九八七年三月に富岡工場を

閉鎖することになりました。閉鎖式における、当時の柳澤社長との挨拶を引用します。「歴史的・文化的価値が高く、貴重である」と評価されているこの建物・諸施設及び、創業以来の当工場関係者の富国繁栄・殖産興業に心血を注いでこられた、その意気盛んな心が今後も脈々として受け継がれ、この工場が物心両面で若々しく、活気をもって生き長らえて行くよう、また、二十一世紀へ向けて新しく生まれ変わり、皆さんが富岡工場、製糸業最後の仲間として再び快く集まることを期待します。』も早く来ることを期待します。閉場を決断した断腸の思い、一緒に過ごした時間に対する感謝の気持ちが進められています。

富岡製糸場が世界遺産登録されて以来、様々な取材を受けました。「なぜ十八年間守り続けたのか」。おそらく閉場の時点では何の当てもありませんでした。明治政府や諸先輩方の思いが詰まった富岡製糸場、日本近

代化の先頭に立ってきた富岡製糸場。その建物に対する一種の畏怖の念があったと思います。

片倉の関係者だけでなく、特別な思いを持った方々のアドバイスがあったからこそ、富岡製糸場を守り続けてこられました。テーマパークや観光地にしたかどうかという提案もありましたが、柳澤社長には「単なる見世物として残すつもりはない」との思いが強くありました。二〇〇三年、小寺知事から世界遺産登録の提案を受けて「それならやってみよう」となり、二〇〇五年に富岡市へ譲渡されました。



■今井五介の遺訓、片倉家の家憲

社内では今井五介が遺した遺訓、片倉家の家憲をよく引用します。遺訓はいくつかありますが「これぞ片倉のDNA」と感じるのは、「信義誠実を旨とし、

無駄、無理、むらを排し、科学的管理に徹せよ。」「徳義、品格、節操、謙譲、整頓、美化の要訣」です。現在の経営理念にある「信義・誠実・親和協力」は、この遺訓から拝借したものです。また、片倉家の家憲には「俟約を旨とし奢侈の風に化せざる」と「家庭は質素に、事業は進取的たること」「事業は国家的観念を本位とし、公益と一致せしむること」「己を薄うして人に厚うすること」「つねに人の下風に立つこと」「雇人を優遇し一家族をもってみること」が

あります。特に最後に紹介した「雇人を…」では、工場単位を一つの家族として経営していたと思います。現在でも片倉工業が常に心掛けているところです。

■事業の多角化

片倉工業は原点である繊維事業だけでなく、医薬品・機械関連・不動産などの事業も手掛けています。蚕の蛹から採れるビタミンB2の高度利用を基盤に各種製剤を生み出し、点滴薬や心臓病薬などの医療用医薬品の製造・販売を行ってきました。また、蚕から蜜蜂の研究に発展し、施設園芸やハウス園芸で使われる訪花昆虫の販売、蜂蜜の採収・販売にも繋がっています。片倉に限らず糸偏の会社は機械改良と内製化に取り組んでいました。それが機械関連事業の出発点になります。何度かトヨタ産業技術記念館に足を運びましたが、非常に興味深い施設です。特に豊田佐吉の自動織機に賭ける情熱、トヨタ自動車の源流に触れ、感銘を受けました。片倉の加須工場では、町工場と同じよ



うに材料の穴開け、切断、曲げ、溶接などを駆使して、自動車部品の下請けもしています。松本の工場では農機具の製造を手掛けています。グループ会社の日本機械工業は消防自動車を製造し、国内メーカーでは㈱モリタに次ぐ二番目のシェアを持っています。工場にあった手押しのポンプ車に由来し、歴史は古く戦前からある会社です。不動産事業では工場などの跡地を様々な形で有効活用しています。

私は二〇〇四年に片倉工業に入り「古くて良い会社」と感じました。社風も良く、社員も良い人ばかりです。ただし、良いだけでは長く経営はできません。今年で一四二年を迎えますが、この間を生き長らえて来たのは、明治から昭和前半までの諸先輩が的確な手を打ち、新しい事業、新しい分野に進出したからです。三代目の片倉兼太郎は、戦後の財閥解体で一時は公職追放になりますが、復帰したときに「これからは観光業だ」と言ったそうです。彼がその後も生きていれば、片倉に観光事業があつたかもしれません。片倉にはシルク号という自転車もありました。ローマ五輪の日本代表が使用した自転車です。その自転車が高じて原付バイクもつくりました。もしかすると今頃はホンダと並ぶ二輪車メーカーになっていたかもしれません。片倉は本当に多種多様な分野に挑戦してきました。挑戦し続けなければ一四〇年は続きません。

■経営理念・経営ビジョン

「愛される二〇〇年企業を目指して」。これが現在の合言葉です。今後の約六〇年を展望したときに、現在の四分野だけでは発展

できない、生き残れないと考えています。片倉は中期経営計画のない、古い会社でありがちな極めて閉鎖的な体質でした。私が社長に就任した二〇〇九年、中期経営計画をつくるため、まずは経営理念・経営ビジョンをつくり直すプロジェクトチームを組織しました。青臭い哲学論争からはじめ、我々の原点を徹底的に見直しました。そしてできあがったのが、経営理念「信義・誠実・親和協力を旨とし、命と健康を守り、健全で豊かな社会の実現に貢献する」、経営ビジョン「分散と融合を追求し、健康、安全・快適、環境との共生を実現する企業集団を目



笑顔 | 番
看板2番



かんぱん各種
電光掲示板
ステッカー
デザイン
群馬テレビ代理店
とちぎテレビ代理店

地域密着型フリーペーパー
ふりペッ

活気ある街並み創る
東和広告システム



株式会社
東和広告システム

〈本社〉 桐生市境野町7-50-1 ☎0277-32-5503
〈高崎〉 高崎市菅谷町369-1 ☎027-388-0356
〈埼玉〉 加須市騎西31-1 ☎0480-31-8412
〈宇都宮〉 宇都宮市兵庫塚3-10-24 ☎028-678-6631

アルミ精密部品の切削加工メーカー

有限会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2

TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059

URL : <http://www.apm-f.com> E-mail : fuse@apm-f.com

指し、新しい『成長の芽』を創り出す」です。

世間では「選択と集中」が行ですが、その最大のリスクは「選択した分野がつまずけば全体がつまずく」ことです。分野をさらに広げて新分野を開拓し、リスク分散するのが「分散」の意味です。「融合」はシナジーです。例えば肌着をつくる人、消防車をつくる人、医薬品をつくる人が、どうシナジーを生み出すのか？それを考える、考えようとするのが「融合」です。現在、各分野を横断した融合会議を定期的に開いており、少しずつ成果が出ています。新事業には「成長の芽」が大



切です。全体で約四〇〇名の社員を、部署を越えて三名ずつに分け、一〇〇組以上のチームをつくりました。各チームが経営理念・ビジョンに沿って「新しく何をしたいか、何をするべきか」を議論し、提案してもらいました。十分な時間をかけ、二八〇点に及ぶ提案が集まりました。また、社内公募などでメンバーを募り、新規事業開発室を六〇数名で立ち上げました。約四〇〇名のうち、六〇名は大きな比率です。この新規事業開発室が二八〇点に及ぶ提案を、介護福祉・環境・農業などのキーワードに沿って分類し、何もな

いところから新しい事業を立ち上げています。

■新しい事業

成長の芽が少しずつ育っています。昨年九月にデイサービスをはじめ、三月には二カ所目をオープンしました。また、オストメイト（病気や事故で人工肛門・人工膀胱を造設）の方も使

ます。病院の協力を得て、工夫を凝らした点滴用の病衣の開発にも取り組んでいます。新会社を設立して腎臓病患者の方も安心して食べられる低カリウムレタスの栽培を始めまし

た。ハナビラタケという中国の高地で採れる特殊なキノコを栽培する新工場もつくりま

す。少々高めの価格なので、どのように売れるかが今後の課題です。このように挙げればキリがないほど、新事業を立ち上げています。いずれも経営理念や経営ビジョンに基づき、既存分野の延長線上でシナジーを生み出しています。

■三勝二敗で良い

中期経営計画は五カ年の数値計画も発表しました。残念ながら今年二月のIR（投資家向け広報）では、なかなか厳しい数字を発表することになりました。円安による繊維事業の大き



なマイナス、薬価引き下げも医薬品事業に影響を及ぼしました。順調なのは機械関連事業と不動産事業です。「その他の事業」を含めた五分野がすべて良い状況は滅多にありません。「三勝二敗で良い」と社員にも言っています。現在は不動産事業が収益の柱ですが、もともとは医薬品事業が収益の柱でした。機械関連事業では東日本大震災以降の防災意識の高まりにより、防災関係の需要が増えていま

部 品 加 工 の 株式会社 マテハン

同 友 会 の 製 造 業 と 連 携 し て
北 関 東 機 械 加 工 セ ン タ ー を 目 指 し ま す。

ホームページで仕事の受注が出来ました。
好評「部品加工のマテハン」

URL: <http://www.kk-matehan.co.jp/>
E-mail: mth@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276 (37) 4571
FAX 0276 (37) 4562

キーパー財務15・経営羅針盤15



財務の力を経営の力に

キーパー経営羅針盤15なら、会社でも自宅でも自社の財務状況をリアルタイムに把握し、チェックすることが可能です。

同友会 高崎支部会員

株式会社 シスプラ
<http://www.syspla.co.jp/>
☎ 0120-638-377

群馬県高崎市間屋町3-10-3 間屋町センター第2ビル
TEL.027-363-8377 FAX.027-363-8313

す。先月、仙台で開催された国際防災世界会議の展示場に大規模な消化設備を展示しました。これは今後、収益の柱になる可能性があると感じます。

【質疑応答】

■日本型の経営

「アメリカ型の資本主義的な経営手法はいかがなものか」が私の持論です。日本型の資本主義的な経営手法もあると思います。コーポレートガバナンスによる経営の透明性・健全性・遵法性などが叫ばれています。果たして日本の企業文化に合致しているでしょうか？

従来の日本的な経営手法は間違っているのでしょうか？日本は明治維新以降、法律はドイツ、経営形態はイギリスに学びました。しかし敗戦後、一気にアメリカ型になっていきました。日本とドイツは類似点が多数ありますので、私はドイツの経営を勉強すべきだと思います。

社内の経理担当者には「IFRS（国際会計基準）を何も考えずに取

り入れるべきか、自分自身で勉強し、判断してみなさい」と言います。同様に監査法人の先生とも「会計のプロとして、この制度を本当に良いと思いますか？」と何度も議論しています。その根底には「私たちが持っている日本型の経営の良さがあ

る」と思うからです。

■良い会社づくり

良い会社には良い社員がおり、良い社員を育てています。また、少なくとも経営者には、自分の信念をしっかり持つてもらいたいと思います。明治維新の後、政府は富岡製糸場の開場

に自前で取り組みました。たいへん立派ですし、それだけの覚悟があったのです。覚悟がなければ安易にアウトソースしたでしょう。その方が短期的なコストパフォーマンスは高いはずですが、社内でも「ROE（株主資本利益率）だけ、短期的な収益だけを追求して良いのか？」という話をします。ある時、投資家の方にこの話をすると「株主を軽視している」と言われました。株主を軽視しているのではなく、私が軽視するのは、短期的な株の売買で利益や配当を得ようとする人です。私たちと一緒に中・長期的観点で経営を見てくれる株主は、もちろん大事にしたいと考えています。

■製糸技術の組織開発

私の考えに近い、片倉工業に求めたことは非常にラッキーでした。しかし、最初に感じたのは「スピード感がない」ことでした。一四〇年も続いているため「保守的な企業」と思われるかもしれませんが、片倉の歴史を調べると歴代の経営陣は「極めて進取的な経営」をしています。それがここまでの技術開発に繋がりました。片倉が製糸業者として成功したのは、

良い繭をつくる農家を味方につけたことと、製糸技術の組織的開発にあると感じます。そのベースとなったのは、会社と工場単位が一家族になっ

ていたところにあります。現在、どの部署も中小企業と変わらないサイズにあるため、工場の各部門長には「片倉は町工場と同じ、会社の規模を誤解しないように」と話しています。片倉工業の大きな傘の下で仕事をしているメリットはもちろんありますが、そこに甘えていては各部門の力はつきません。

■マーケットの絞り込み

私は片倉に来たときから「植物流工場をやりたい」と言っていました。当時の部下に話した。あの頃から始めていけば、現在はフロントランナーです。当然、今から取り組むのであればニッチな部分で勝負するしかないのです。低カリウムレタスに絞りました。また、心

臓病薬では片倉の子会社がトッブメーカーですが、心臓病薬のマーケットは何千億円もあるわけではなく、何百億円という単位です。AEDで蘇生させるか、この薬を飲ませるかという劇薬も扱っています。健康などには関係のない、非常にニッチな分野になります。

中期経営計画で謳っている新規事業は、私たちが受け継いできたものをどう具現化するかであり、それはどれもニッチな



分野です。どこかの企業を買収して大きく始められるかという、現在の資本力では無理なことです。どうしてもニッチな分野を探さざるを得ないと思います。



どを行います。売上が悪いのであれば、どうすれば良いかを一緒に考えます。テナントと同じ目線に立つことがデベロッパーとしての仕事だと思っています。ある意味ではこれも、ものづくりにおける「現場に根ざした発想」です。

ものづくりでは「上流に近いこと」も大切です。片倉の子会社が扱う、一定の温度になると自動的に溶ける繊維があります。この特殊な繊維の素材が、現在はフィルムにもなっています。ものづくり技術の上流部分を持つていると、別のものに化ける可能性を秘めています。

■製糸場の維持・管理費用

富岡もそうですが、ほとんどの製糸工場は田舎にありました。そのため、米や味噌、醤油をつくるなど自給自足していました。味噌づくりの発酵技術が現在に活かされたと思うので、なくなったことが非常に残念です。「ものづくりのDNAは絶対になくさないでほしい」と社内では常に言っています。

片倉では不動産開発も手掛けていますが、テナントに場所を貸すだけでは全く意味がありません。毎月、テナントを集めて教育研修やロールプレイングな

用について様々な提案を当時の

経営陣は受けました。しかし、そうした提案を頑なに断り続けたそうです。これが片倉に引き継がれるDNAなのかもしれません。「そのDNAとは何か?」と聞かれても困りますが、「それが当然の判断」という感覚です。そうした感覚、日本的な経営感覚がとても大切だと思います。

■中期経営計画作成の経緯

日本型の資本主義的な経営があるはずと言いました。自信を持って「ある」と言うためには、しっかりと経営数字を残す必要があります。数字を残せなければ、富岡製糸場の維持のために年間約一億円の費用も使えません。しっかりと収益を上げ、ステークホルダーに還元するために中期経営計画をつくりました。

私は外部から入った人間です。外から来たからこそ見えた良い部分もたくさんありました。それをもう一度、片倉の歴史と合わせて社員に学んでほしいと考えました。中期経営計画の作成には、約二年半の歳月を掛けています。間違いなく時間を掛けた意味はありました。次の一五〇年への原動力になればと願っています。

銀座発! 全室完全個室のリラクゼーションサロン

relaxation salon Ruan

リラクゼーションサロンルアン 前橋店

完全
個室

贅沢な個室空間でオールハンドによるセラピストの体のほぐし、リフレクソロジーをご堪能ください。

オープン記念
《全メニュー》

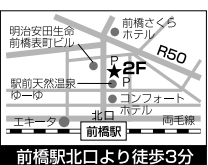
ALL20%OFF!

《ボディ》
20分〜…2,000円〜→1,600円〜
《足つぽ》
20分〜…2,100円〜→1,680円〜
その他セットメニューなど各種メニューございます。
※価格は税別表記です。

全室完全個室の贅沢空間で、人目を気にせずあなただけの癒しのひとときを過ごしていただけます。施術は全て女性スタッフが対応!! 男女問わずご利用OK。

ご予約
お問い合わせ TEL.027-243-1123

《営業時間》
11:00〜21:00(最終受付 20:00)【年中無休】
駐車場4台完備 ※ご利用の場合はお電話にてお問い合わせを
住所 ■前橋市表町2-10-19 表町ビル 2F



45th ANNIVERSARY おかげさまで45周年 これからもお客様の信頼を糧に

私たちはにできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお薦めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。



JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
E-mail: eigyo@jp-t.co.jp URL: http://www.jp-t.co.jp

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25



二〇一五年度役員一覧

(順不同・敬称略)

《常任理事》

代表理事

山岸 良一

(株)山岸製作所

代表理事

澤浦 彰治

グリーンリーフ(株)

副代表理事

田村 徳良

(有)サンテックス

副代表理事

提箸 康裕

マルシン産業(株)

副代表理事

相沢 克友

相沢鉄工(株)

経営研究部会長

丹羽 孝宜

(株)邦和

共済部会長

吉池 睦

川上機工(株)

社員教育委員長

吉池 睦

川上機工(株)

共同求人委員長

提箸 康裕

マルシン産業(株)

青年部会長

杉崎 由里

(株)エステイビー

障害者雇用委員長

生沼 英治

ソニー生命保険(株)

政策委員長

増田 晋一

増田煉瓦(株)

広報委員長

平岩 健男

(株)アイクルー

研究会実行委員長

高橋 秀隆

(株)沼田アルミ

仲間づくり委員長

清塚 徹

(株)シエリー

前橋支部長

町田 英之

(株)プランニング

高崎支部長

宮石 喜康

三朋企業(株)

伊勢崎支部長

榎原 栄一

(有)アーバンスペース

桐生支部長

岡田 善孝

(有)岡田電気設備

太田支部長

岡村 達哉

(株)オカムラ精工

沼田支部長

阿左見徳之 阿左見メカニカル

清塚 徹

(株)シエリー

《理事》

前橋支部

小林 光義

(株)アーキズムあすか設計

海老沼久之

(株)MO設計

松木 剛一

赤城フーズ(株)

遠山 昌子

赤城フーズ(株)

高崎支部

戸塚 美秀

(株)アイテックスシステム

佐藤 茂樹

(有)山一製作所

伊勢崎支部

丸橋 正幸

マルバシ経営労務コンサルティング

内山 修一

(株)内山労務管理事務所

諏訪 康彦

(有)スワコーポレーション

細瀬 敦

兼希工業(株)

奥野 豊

(株)カーヴェルク

桐生支部

前原良太郎

RT工業(有)

太田支部

根岸 澄子

(株)松村機械製作所

島山 淳

(株)マテハン

阿久戸英男

(株)アミイダ

沼田支部

高橋 宣明

(有)ノームランド高橋

前田 善成

(株)前田設備

兵藤 武志

(株)北毛久呂保

星野 高章

(有)農園星ノ環

澁川吾妻支部

植杉 隆士

(有)ハルナ工芸

金井 雄吾

ブシネット社会保険労務士行政書士事務所

《顧問》

橋本 勝

蔵前産業(株)

松倉 重昭

(株)ユニオン

宮崎 精一

(株)日乃出

古郡 登

(株)日乃出

《監事》

福島江美子

福島会計事務所

五十嵐正子

(株)群馬計理

総会メッセージ

中小企業家同友会全国協議会

会長 鋤柄 修

第四十三回定時総会おめでとうございます。

群馬同友会会員の皆様、熱心な経営努力と同友会運動発展へのご尽力に心から敬意を表します。

あの未曾有の大災害となりました東日本大震災から四年が経過しました。しかしいまだに復興といえる状況にはない中で、皆様のご支援もあり、被災地の中小企業の奮闘は続いています。

さて景気に少し明るさが見えるとはいえず中小企業には厳しい中で、同友会の役割はますます重要さを増しています。昨年突然出てきました外形標準課税の中小企業への適用拡大に全国的にも反対署名など大きな運動で取り組み、適用を阻止することができました。群馬同友会の皆様の取り組みに感謝申し上げます。

今年には戦後七〇年、労使見解発表から四〇周年の節目の年になります。六月二日のキックオフ集会を皮切りに中小企業憲章・条例推進月間を取り組みます。中小企業が主役となり、新たな展望をきりひらく運動を広げていきたいと存じます。群馬

同友会の創意あふれる取り組みで、この運動を大きく伸ばしていただければと存じます。

厳しい状況下にあっても、全国の多くの同友会が会勢を維持し、発展させるために懸命の努力を続けております。群馬同友会におかれましても増勢の勢いを強め、本総会を契機に、日本と地域を元気にしていくためにも、同友会の学びあいの輪をいっそう大きく広げ、地域からの期待に応える同友会としてさらに飛躍されますことを念願し、お祝いのメッセージとさせていただきます。

二〇一五年四月二十三日

“塗装工事何でもお受けします”

コンサルタントが一切入らない、手作り小冊子
「塗り替えをする前に、知っておきたい知識」

無料プレゼント

送り先明記で、ファックスまたは、メールにて
ご請求ください。



高品質・高性能塗装 (有)クチキテック 携帯 090-4911-8900

代表取締役 朽木 康

TEL 0278 (22) 0691

〒378-0015 沼田市戸鹿野町324-3

FAX 0278 (22) 0696

E-mail:kuchikitec@yahoo.co.jp URL:http://www.kuchikitec.jp クチキテックで検索



オリジナル製品で 困り事を解決!



阿左見メカニカル

代表 阿左見 徳之 氏 (沼田支部長)

Q & A

▼会社紹介をお願いします

群馬県の北部、沼田市にて小規模ながらオリジナルな産業用機械装置や器具、道具等の設計、製作を行っています。おかげさまで、今月で創業から九二十年になります。

これまでは、日本全国の航空管制用「無線航法援助施設」等で使用される油圧式換気口シャッター(平成十六年群馬県一社一技術選定)の設計製作をメインとしてきました。今までに二四六台もの納入実績があり



ます。そのほか、売上の比率はまだまだですが、地域の皆さんから「こんなことで困っている。何とかして解決できないものか」「こんなものが作れないか」といった相談を受けるたびに、精一杯その要望に応えられる製品を考案し、納入してきました。

気づけば守備範囲がどんどん広がってしまっています(笑)、知恵を絞り出すのが大変なこともあります。完成品をお届けした際に、依頼主の歡ぶ顔を見ると、そんな苦労も吹き飛んでしまうんですね。

▼創業までのエピソード

東京都内で勤めていた会社では長年、機械設計に携わっていました。

私は長男でしたので、いずれは沼田に帰りたいとずっと思っていました。結果的に当時としては珍しい「在宅勤務」というかたちで沼田へ戻り、七、八年は一人自宅で仕事をしました。

しかし、離れていると会社の雰囲気もわからず、気持ちの上でも距離感を感じるようになりました。そし

て「しばらく一人でやってきたので何とかなるだろう」と独立を決意し、平成七年に創業しました。

その際、自分で考えてつくること、つまり「必ず設計から製作までやる」ことを心に決めての船出でした。

▼会社のイチオシは?

これまでに設計製作した製品の中で一般販売出来そうなものは当社のホームページに掲載されていますが、すべてお客様の困り事を解決するために製作したオリジナル製品です。

ものづくりのプロとして、お客様に「納得の価値と機能」を提供することが私たちの使命であり、強みだと思っています。食品機械、機具、農業用機械、特殊機械装置、アイデア製品、



▼今後の抱負

「使う人の身になって…」これは私どもが創業以来心がけている基本的なもののづくりの考え方です。これからも一台一台、一つ一つ丁寧な仕事につとめることで、経営理念にも掲げられている通り「期待され、喜びと感動を共有できるものづくり」を行っていきたいと思っています。

また、二〇周年を期に世代交代も視野に入れて会社の方向性を定め、法人化等も検討していきたいと思っています。



所在地／沼田市沼須町1310-1
連絡先／TEL0278-23-5033
URL／<http://www.azami-mecha.jp/>

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【女性の職域拡大事業受注】 中央キャリアネット(株)

中央カレッジグループで就職支援を手掛ける中央キャリアネット(株)(常務取締役・樺澤道久氏、前橋支部所属)は県産業経済部労働政策課から「女性の職域拡大事業」を受注した。期間は3月10日から16年2月29日までの予定。少子高齢化の急速な進展に伴い労働力人口が減少する中、これまで女性の就業が少なかった分野にも採用拡大を行うことを目的としている。3月26日にはグリーンドーム前橋で説明会とミニセミナーを実施した。今後は県内各地で説明会とセミナーを実施し、登録者を募っていく。

[4/23付ぐん経]

【シニア向け家事代行サービスに参入】 日高運輸(株)

運送業の日高運輸(株)(代表取締役・黒澤美恵子氏、高崎支部所属)は21日から、60歳以上のシニアに特化した家事代行サービスを始めた。「しあわせシニアサービスさくら」を立ち上げ、本業を生かした引っ越しをはじめ、掃除や洗濯、困りごと相談、要望があれば空き家管理も行っていく。「コミュニケーションに重点を置き、代行サービスを行うことで、依頼者が少しでも幸せになってもらえたらうれしい」(黒澤社長)としている。新事業は、黒澤社長が経験した両親の介護を通じて、身近に手助けをしてくれる人の必要性を痛感。高齢者社会の到来や、地域貢献も視野に入れ、家事代行業に参入した。

[4/23付ぐん経]

【“レタスビール”を商品化】 (株)野菜くらぶ

畑から生まれたレタスビールはいかがか……。農産物の生産、販売などを手掛ける(株)野菜くらぶ(代表取締役・澤浦彰治氏、専務取締役・毛利嘉宏氏、沼田支部所属)は、自社で生産するレタスを原料に使ったクラフトビール(発泡酒)「ベジエールレタス」を企画、このほど販売を始めた。同社では「全国的にも珍しいビール。レタスを生産する強みを生かし、レタスとのセット販売なども検討していきたい」としている。同社は昨年、酒類販売業の免許を取得。当初、有機こんにゃくの焼酎を検討したもの、商品化には至らなかった。そんな中、トマトのビールの存在を知り、「通年出荷できる強みがあるレタスを使ったビールを作ろう」と商品化に動き出した。

[4/30付ぐん経]

【「現場きれい活動」実践】 大進建設(株)

総合建設業の大進建設(株)(代表取締役・齋藤元秀氏、伊勢崎支部所属)は、心を込めた住まいづくりの一環として「現場きれい活動」を行っている。安全で良品質な現場、さらには職人のマナー向上を掲げ、“魅せる現場”の構築を目指していく。住宅産業塾が主催する「現場きれいコンテスト」で全国3位となる優秀賞も受賞。さまざまな相乗効果で、同社のテーマでもある「カラダ、ココロ、心地よい一歩

先いく健康住宅」を目指していく。

齋藤社長は「建築現場はその会社の姿勢が如実に現れる。完成した建物と同様に、建物が完成するまでの過程が重要。掃除という行為を通じて、働く人間の心を磨いてくれる。今後も心のこもった集団であり続けたい」と話している。 [5/14付ぐん経]

【前橋産技専門校が個別企業ガイダンス】 増田煉瓦(株)

前橋産業技術専門校は15日、増田煉瓦(株)(代表取締役・増田晋一氏、前橋支部所属)を招き「個別企業ガイダンス」を同校で開いた。同ガイダンスは、来春の就職を目指す訓練生を対象に、求人企業の代表者などから企業の概要や求める人材像を聞くことで、企業の良さや独自性を実感させ、就職意欲向上を目指すために行うもの。

説明会では増田社長が「何か一つ極める技能を有する人」と、求める人材像を話した後、「一つ得意分野を持って、技術を持ち、自信を持ってほしい」と述べた。 [5/21付ぐん経]

【店舗を全面リニューアル】 (有)都丸洋服店

フルオーダースーツ専門店の(有)都丸洋服店(常務取締役・都丸剛氏、前橋支部所属)はこのほど店舗をリニューアルオープンした。7月からは屋号を「Bespoke Tailor Tomaru Since1935(B・T・T)」に変更する。同社は今年創業80周年を迎えた。前橋市石倉町から現在地に新築・移転したのが80年で、以来初のリニューアルとなる。リニューアルオープンを記念して6月末まで一律5%オフ、仕上がり7月末～8月末でいいという人は10%オフになるキャンペーンを実施している。

都丸常務は「お客様と対話しながら求めるものを形にして世界に1着のスーツを仕立てていきたい」と話している。 [5/21付ぐん経]

【会計事務所向けセミナー】 (株)シスプラ

財務会計ソフト開発・販売の(株)シスプラ(代表取締役・樺沢均氏、高崎支部所属)はこのほど、ビエント高崎で会計事務所向けのセミナーを開き、会計事務所の所長ら約30人が参加した。同社は88年創業で、財務会計や給与計算ソフト「キーパーシリーズ」の開発販売を行っている。

当日は樺沢社長が講師となり、同ソフトの開発の経緯や記帳業務の「製販分離」、企業側で経理データを入力する「自計化」の推進などに触れながら「どうしたら顧客先の経営に役に立つデータになるかを事務所全体で考え、財務を経営に生かす提案を重ねていくことが必要」と説明した。

[5/21付ぐん経]

【組織変更&支部所属変更】

(有)サンテックス、代表取締役・田村徳良氏(前橋支部所属)では、この度、「(株)サンテックス」に組織変更しました。また、支部所属を「高崎支部」に変更しました。

第1回 理事会報告

日時 五月八日(金)

十八時三十分～

会場 同友会事務所

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事／澤浦、相沢、常任理事／丹羽、吉池、杉崎、生沼、町田、宮石、榎原、阿左見、清塚、理事／小林、海老沼、遠山、戸塚、内山、諏訪、高橋、前田、顧問／宮崎、事務局／黒岩、阿久澤、竹内(役員計十九名)

【議事】

沼田支部の高橋(宣)理事が議長をつとめ、澤浦代表理事挨拶のもと、第一回理事会を開会した。

I. 報告連絡事項

1. 定時総会の報告と総括

第四十三回定時総会の参加状況とアンケート結果が事務局より報告され、それぞれの感想なども交えながら総括しました。

2. 支部・部会・委員会報告

各組織代表者より、報告や案内連絡等がありました。

3. その他

○六月から九月にかけて開催される中協関連行事が紹介されました。

○広報委員会制作の「社長の学校」の名刺用シールが配布され、活用依頼がなされました。

II. 承認事項

1. 理事会への提案

①障害者雇用委員会の生沼委員長から、七月に勉強会を開催したい旨、提案がなされ、大枠でこれを承認しました。

また今後、鬱病などへの対応策についても取り組んでほしい旨の意見がありました。

②例年の役員研修交流会について総務会より提案がなされ、七月理事会定例日に開催することを決定しました。

2. 部会・委員会メンバー選任案

標記について選任状況を確認するとともに、これを承認しました。

3. 入退会者承認と新年度の支部目標について

前回理事会以降の入会者六名を承認。会員数は五〇三名となりました。

また、各支部から今年度の入会者目標が発表され、これを承認しました。

III. 審議事項(意見交換)

1. 参加者自己紹介

第一回目のため、参加者全員が自己紹介と抱負、業界の動向などについて発表し合いました。

IV. その他

1. 次回の理事会開催日程

第二回理事会を左記の通り開催することを確認しました。

(七月は役員研修交流会)

日時：六月二日(火)

十八時三十分より

会場：同友会事務所・会議室

6月度常任理事会承認会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

新会員ご紹介

前橋支部

(株)小林幸太郎商店

〒371-0221 前橋市樋越町723-2
TEL：027-283-1191
FAX：027-283-1192
肥料販売



代表取締役
小林 太
S56年生

【紹介者／澤浦彰治】

私共は、群馬県内を中心に肥料販売、青果物の集荷、米の販売を致しております。異業種の多くの皆さまと勉強、情報交換させていただき、色々なことを学び、会社の経営に生かしていきたいと思っております。

高崎支部

三峰工業(株)

〒371-0012 前橋市東片貝町77
TEL：027-226-6681
FAX：027-226-6682
環境機器設計・製作
スポーツ



代表取締役
村上 慎一
S33年生

【紹介者／山岸良一】

焼却炉メーカーとして県内の公立高校殆どへの納入から、ダイオキシン対策を含む排ガス処理装置や、プラスチック油化装置の開発・設計製作と時代の要求に応えながら、現在では再生可能エネルギー分野での装置に着手しました。

前橋支部

(株)ナカダイ

〒379-2122 前橋市駒形町1326
TEL：027-266-5103
FAX：027-266-5044
産業廃棄物中間処理業
アウトドア全般



管理部 部長
越 知 靖 政
S51年生

【紹介者／中台啓一・田子宏美】

矛盾多き廃棄物の世界に取り組み甲斐を感じ、この業界と群馬に飛び込んで早15年経ちました。今までは、ただひたすらに業務のみを追いかけて参りましたが、この度、同友会入会の機会を得ることができましたので、人としての幅を拡げられたらと思っております。不要になったものを如何に活かすのが私たちの会社の全てです。お困りの際は是非声をお掛け下さい。

伊勢崎支部

(株)ナカダイ

〒379-2122 前橋市駒形町1326
TEL：027-266-5103
FAX：027-266-5044
産業廃棄物中間処理業
ゴルフ、剣道、アイスホッケー



取締役常務
中 台 啓 一
S46年生

【紹介者／田子宏美】

前橋の駒形インター近くで産業廃棄物の中間処理施設を運営しております。産廃は処分するものではなく、見方を変えれば活用できるものもあります。「使い方を創造し捨て方をデザインする」リマーケティングビジネスを展開し、捨てると使うを繋ぐことで持続的社会に貢献し、また工場見学受入やワークショップ・イベントを開催し、我々産業の理解を深めていく努力もしております。

前橋支部

社会福祉法人 三山黎明会 〒371-0056 前橋市青柳町983-1

TEL：027-260-1900
FAX：027-233-2588
障害福祉サービス



常務理事
中 島 穰
S37年生

【紹介者／澤浦彰治】

私たちは福祉サービス事業を通じて、障がいをもたれた方の地域生活を支援しています。経営者の皆さんとの意見交換から学び、より生活しやすい環境作りに役立てたいと思います。よろしくお願ひ致します。

沼田支部

(有)小松屋

〒378-0043 沼田市東倉内町484-2
TEL：0278-22-4222
FAX：0278-22-5579
飲食店、一般消費者へ食料品の販売
ゴルフ



代表取締役
今 井 幸 吉
S35年生

【紹介者／澤浦彰治】

当社は沼田市内で食料品の販売を行っております。食料品の販売を通して皆様に元気をお届けできる様、日々「元気のある店」を目指して頑張っております。さらなるレベルアップのため、皆様と意見交換を行って行きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。